

化学肥料削減・緑肥転換緊急支援事業について

6月補正予算案 30,000千円（国庫 30,000千円）
 ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

1 目的

化学肥料価格の高騰が農家経営を圧迫するなか、肥料効果の高い緑肥作物を活用して化学肥料削減を図る地域の取組を支援することで、化学肥料の価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換と、化学肥料削減による農地からの温室効果ガス排出量の削減を目指す。

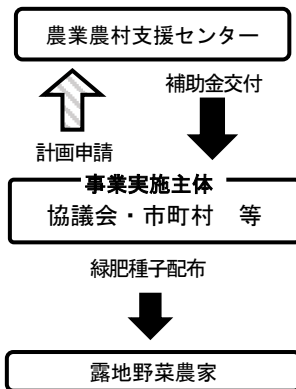
2 現状と課題

- 化学肥料価格の高騰（R3→R5：1.5倍）により、農家の経営が圧迫されている。
- 緑肥作物の活用により化学肥料の使用量を削減できるが、減肥栽培の経験が乏しいため、慣行農法からの転換に対する不安から導入が進んでいない。

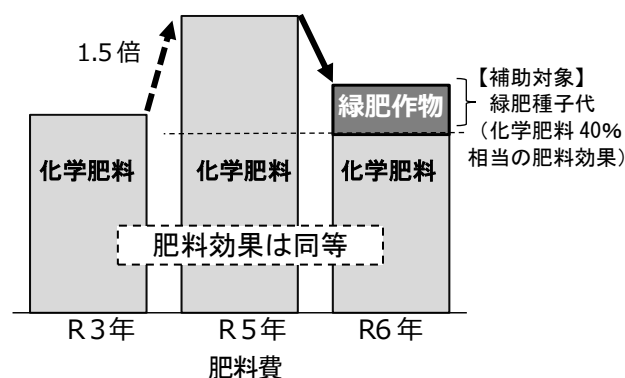
3 事業概要

事業内容	事業実施主体	補助率	予算案
緑肥作物を活用した化学肥料削減に取り組む農家に対し、緑肥作物の種子を配布するため、事業主体が購入する種子費用を助成する。 <補助対象者> 野菜農家	協議会 市町村 JA 等	定額	30,000千円

【事業の流れ】



【補助のイメージ】



【主な緑肥】



ライムギ



ヘアリーベッチ

4 事業効果

- 緑肥作物の導入により化学肥料価格高騰の影響を受けにくい経営構造へ転換し、化学肥料価格高騰下においても安定的な事業継続を図ることができる。
- 土づくりなど緑肥作物の多面的効果が農家に実感され、利用農家の継続利用と、新規利用の拡大により、産地全体での化学肥料からの転換を図ることができる。